



年度末・年度当初のとりくみ完遂にむけて、泉委員長による団結カンパロウで会は締めくくられた。(3月6日、ラッセホールで)

- 「2013年度政府予算案について」
- ①「全国学力・学習状況調査の悉皆化」
 - ②「心のノート」の一律配布の復活
 - ③「高校授業料実質無償化」の見直し
 - ④「地方公務員給与の削減」(詳細は教育ひょうごNo.1831参照)



泉雄一郎執行委員長

あいさつ要旨

「政策・制度要求実現のとりくみについて」

昨年末の衆議院議員選挙の結果、改選勢力が3/4に達する戦後最大の危機的状況となった。憲法96条の改正を許せば、国防軍が創設されることになる。この夏の参議院議員選挙は、今後の日本社会のあり方を問う選挙となる。

私たちの政策・制度要求の多くが、最終的には政治の場で決することになる。政治の判断如何によって、今後の教育政策、教職員の処遇・働き方にも大きな影響が生じる。私たちにとって、学校現場を経験した日政連議員や私たちの組合運動を理解し、支持してくれる議員を増やしていくことが重要だ。

しかし、情勢は非常に厳しい。先の衆議院選挙比例代表で兵庫選挙区の最高得票を得たのは「日本維新の会」、次いで「自民党」だった。兵庫は2議席のため、このまま推移すれば「つじ泰弘」さんは非常に厳しいと言わざるを得ない。また、民主党比例代表の「神本みえ子」さんの議席を確実に維持するためには、比例代表予定候補の6位以内をめざす必要があり、極めて厳しい戦いとなる。

夏参議院議員選挙では、兵教組が既に推薦決定している兵庫選挙区「つじ泰弘」さん、比例代表「神本みえ子」さんの議席を守るために、法令を遵守しながら、成に至らなかった。

運動の基盤は、組織力であり、財政力だ。このとりくみを検証した各支部の「2013年度アクションプラン」が策定されている。加入促進の原点は、4月1日着任早々のとりくみにより、このとりくみ如何によって、局面は大きくかわってしまふ。

新規採用教職員の加入促進へのとりくみの強化と同時に、退職される方の兵退教協加入促進も合わせてお願いする。

兵教組本部は、教育研究活動の深化・発展、教職員の生活改善、勤務時間の適正化、心の通いあう学校づくり、組織の強化・拡大、東日本被災地支援などに全力でとりくむ。

兵教組団結してがんばろう!!

2012年度会が、3月6日ラッセホールでおこなわれた。冒頭、泉執行委員長は討論の展開、及び2013年度兵教組役員などに「政策・制度要求実現のとりくみについて」の3点をあげ、執行部を代表してのあいさつをした(要旨掲載)。

2012年度の運動の総括と年度末・年度当初の当面する運動の素材になればと、「2013年度政府予算案について」「政策・制度要求実現のとりくみについて」の3点をあげ、執行部を代表してのあいさつをした(要旨掲載)。

兵教組第136回定期大会



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 泉雄一郎
編集人 池田啓子
電話 050(3538)2346
1部7円 年定価280円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2013/3・15

No. 1832

2面

- ・支部だより(芦屋支部)
- ・第5回青年事務実践講座

軸とする安心社会の実現をめざし、労組の責任を全うし、夏の参議院選挙のつじ・神本の当選を勝ち取るうと述べた。

県職労の竹山泰治副中央執行委員長は、「職場は多忙化する一方、賃金は下がり続けているが、嘆いてばかりいてもこの悪状況を断ち切れない。大型はがきなど私たちが主体的に行動し、この流れを変えていく」と、共闘体制でのとりくみを訴えた。

兵政連を代表して掛水須美枝兵庫県会議員は、こどもとの詩と絵第33集掲載作品「かなしいかお」(裏面掲載)に触れ、「この詩にあらわれる、やさしさ、思いやりを育んできたのは、保護者・地域・学校の皆さんに他ならない。兵庫のこどもたちに悲しい顔をさせてはいけない。兵政連議員一同、兵庫の教育・子どもたちを守るため、みなさんと一緒に活動を持続していきたい。夏の参議院選挙、教育活動推進のためにも頑張りましょう」と訴えた。

2011年度の経過の概要などが報告され、協議事項が提案された。会場から質疑・討論では、再任用制度や加配、東日本震災のとりくみ、高等学校通学区域、市町教員補充のとりくみなどがあつた。また、首長選挙をひかえる、伊丹・宝塚・淡路の支部からは、選挙へのとりくみへの決意などの発言があつた。承認された。



協議事項は満場一致で可決決定した。

各議案については満場一致で可決決定され、今後のとりくみについての意思統一がなされた。

また、本部役員の改選がおこなわれた。執行委員長に泉雄一郎(出身支部・伊丹)、書記長に川原芳和(芦屋)、書記次長に山本正博(三美)、執行委員に釜口清江(神戸)、松山大介(神戸)、井上拓路(宝塚)、美安周平(姫路)、森戸卓也(豊岡)、吉川景敏(永上)が立候補し、全員が圧倒的な得票で信任された。教育研究専門委員に長本浩嗣(佐用)、杉浦光生(津名)、囀託の教育研究専門委員に神田英幸(西宮)、福岡弘美(三美)が承認された。

総合共済が、さらに充実しました!

月額900円で、なんと12の保障! この共済は(株)損害保険ジャパンとのセト商品です。

 火災等	 住宅災害等	 災害見舞	 入院・休業
 傷害	 死亡	 後遺障害	 介護(傷害事故による)
 退職	 個人賠償	 教職員賠償	 遭難救助

賠償補償など、さらにパワーアップ!

- 1 個人賠償の補償額が最高3,000万円に!
- 2 教職員賠償最高3,000万円がついて、業務中の賠償事故にも対応!
- 3 契約者の遭難時などの救援者費用を100万円まで補償!

※総合共済は(株)損害保険ジャパンとのセト商品です。また、ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。制度内容をご確認ください。



資料請求
お問い合わせ

教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004
神戸市中央区中山手通
4丁目10-8
ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730
FAX (078) 221-1199

